

お役立ち情報調査隊

全国には、自分たちの住むまちが、心地よくなるよう活動している人たちがたくさんいます。栄町のまちづくりに役立つような事例を紹介します。

のんびるマルシェ@埼玉

のんびるマルシェ@埼玉

得意なことや資格を活かして「はじめたい」。何かに向かって踏み出すキッカケを応援しようとスタートしたのが、のんびるマルシェ@埼玉。会場はJR武蔵浦和駅徒歩5分すぺーす・ドウという室内施設。

はじめて出店する人向けには『お店づくり準備会』を開催し、経験者から値段のつけ方、当日の様子などを聞き、おしゃべりをしながら準備をしていきます。当日使う名刺や看板作りもおこなっています。

子育て真っ最中のママも趣味や得意なことを活かして販売したり、お買い物をしたりすることで、人と話して喜ぶ顔を見て『自分にも何かできる』『仲間がいる』と自信を持ってもらいたいと思っています。

小物、アクセサリー、子ども折り紙教室、アロマハンドマッサージ、ケーキ、他にもいろいろあり、親子やお友達と一日のんびりくつろいで過ごせます。栄町でもマママルシェをやってみませんか。支援センターで相談やお手伝いをします。

※ マルシェはフランス語で市場という意味です。



のんびる 2月号より

＝地域で市民活動・ボランティア活動をしている人の「はじめの一步」紹介コーナー＝

私これではじめました！ NO.14

◆一枚の写真から

石田 晴彦

私がボーイスカウトに関わったのは、平成5年に栄町の広報誌に掲載された、近隣公園で元気に遊ぶボーイスカウトの子供たちの姿の写真がきっかけでした。小学2年生の息子にも体験させたいと思い栄第一団に入団しました。同時に、私もお手伝いとして活動に参加するようになりました。

最初はボーイスカウトのことは良く知らなかったのですが、スカウト運動の目的である『自然の中で体験しながら学ぶ』には、栄町の自然環境はぴったりでした。

子供スカウトが、小集団(班)を作り、互いに役割を分担し、キャンプやハイキングを通して成長する姿を見られることが、今まで続けられた理由だと思います。スカウト自ら設定した目標達成の過程で、大人として支援をさせていただく喜びが、いつの間にか団委員長のお役目を受けさせていただき今日に至っています。

また、ボーイスカウトの指導者の皆さんも私と同じような立場で参画しておられる方が多く、大人同士のつながりを持つことは貴重だと感じています。ボランティア活動を通して地域の方々との交流ができたことも栄第一団のおかげです。

少子化でスカウト数の減少という課題はありますが、今後もボーイスカウトを通して子供の育成に携わりながら、栄町の住民として一つの役割を担わせていただければと考えています。